

これからの労働組合にもとめられる役割について 5回シリーズの 第2回

著者：(株) ヒューマンバリュー研究所
所長 高橋 基樹

=====

はやぶさ 第134号を発信します。

【タイトル】「これからの労働組合にもとめられる役割について」

***** 本題 *****

第2回 労働組合に求められる現場力

今回は、労働組合の現場における組織活性化への取組みについて考えていきます。

企業のほとんどの問題は、現場から起きています。ここでいう現場とは、消費者接点である「**売場**」やモノづくりの現場である「**工場**」を意味します。現場での問題解決力の巧拙が、企業の「**強み**」「**弱み**」につながってしまいます。

労働組合のある企業では、現場の社員のほとんどが組合員です。通常、現場で起きている問題や市場動向の変化は、組合員から上司を通じ経営者に上がってきます。

しかし、ともすると、会社にとって不本意な情報が経営者に伝わらないという事態が起こります。

現場で対応を間違えたり遅れたりすると、企業の根幹を揺るがす問題に発展してしまうことすらあります。企業では、現場で起きている「**問題**」を的確に把握し、経営者に報告できる仕組みを作り上げることが求められています。

1. 現場に必要なコミュニケーションの場

労働組合は、現場情報を組合員の活動を通じて聴取できる立場にあります。市場の変化や職場の問題を、いち早く察知し職場での話し合いにより共有し、経営者に伝えて

いくことが労働組合の現場での取り組みです。

企業の社会的責任が重視されてきた現在、労働組合も現場の情報入手、特に会社にとり不本意な情報も上げることが求められます。従来から慣習で行ってきたことでも、誰もがおかしいと気づきながらも放置されている作業や、安全対策を講じなければいけない作業等を見直して見る必要があります。

筆者は研修の際に、職場の問題を抽出し解決方法を考案してもらうワークを実施することがあります。参加メンバーは、業務や年齢も違う人が多いものの、いつも同じような問題が上がってきます。

「コミュニケーション不全」「職場の整理・整頓の励行」「上司のマネジメント力不足」などです。

組合員が、不平、不満を持ちながら現場で仕事をしている状況も少なくありません。そのような状態が続くと、ギスギスした職場が生み出され、生産性低下の原因になることもあります。

組合員がストレスを感じないで仕事ができる現場を作り上げる取り組みが求められています。

現場力強化には、現場メンバー間の円滑なコミュニケーションが不可欠です。

労働組合は、コミュニケーションの場を作り、不平不満を出し合える信頼関係を築く習慣を築いていきたいものです。

2. 労働組合の社会貢献としての現場力

平成23年に発生した東日本大震災の復興支援における労働組合の活動は、労働組合が「社会という現場」とのつながりを示す機会ともなりました。

被災地の住民とのつながりや、他の労働組合とのつながりによって、労働組合が多少なりとも存在意義を示すことができました。

あの活動から労働組合は、自社の現場力の向上も必要なことはもちろんのこと、長期的な視野に立ち、「社会という現場」についても考えてみることも大切であることを示したのです。

労働組合の「社会という現場」とのつながりは、「環境問題への取り組み」、や「地域コミュニティへの参加」という形で示すことができます。労働組合は、これからの社会環境の変化に対応していくことも、新たな活動として必要になってくるでしょう。

しかし、自社の労働組合だけでの取り組みには限界があります。社会との良好な関係づくりに向けては解決すべき問題が相当あります。上部団体、産別を始めとした、他の労働組合との協働での取り組みについて検討してみることが現実的な対応でしょう。

また、自社の労働組合の組合員の協力なくしては、社会貢献活動など実現しようもありません。

労働組合活動の再定義も時間をかけて議論することが必要でしょう。

これからは、多くの労働組合で現場力をいろいろな角度から捉え、自社の労働組合に合った活動を考えてもらいたいものです。

第3回のテーマは、「労働組合の〔経営サポート〕機能について」です。

***** お知らせ *****

- ◆ マイナンバー制度導入を検討されている企業様は、パートナー会社：
（株）I & C・HosBiz センターの以下のHPを、参照ください。
マイナンバーに関する参考資料も、参照いただけます。

※ 特にP-マークや品質・環境／情報セキュリティISOを導入済みの
企業様には、ローコストでの導入をご提案できます。

<http://www.hosbiz.net/>

=====

- ◆ パートナー会社の（株）I & C・HosBiz センターが、リーズナブルコストで
“現状を打破したい！”“はがゆい”ところに手当てする安心と安全の「かかり
つけ医」による「ビジネスドック」（企業の健康診断）のサービスを開始しました。
詳細は、以下のHPを参照ください。（マイナンバー制度にどう取り組むべきかの
診断もいたします。）

<http://www.hosbiz.net/pdf/dm.pdf>

=====

経営特くんゲーム 開催のスケジュールのご案内

「マスター20」、「トライアルゲーム」

「経営特訓士資格認定講座」

「インストラクター資格認定講座」

の開催スケジュール・開催案内・料金等は、以下の URL を参照ください。

<http://keiei-tokkunshi.jp/schedule.php>

- 毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、「経営力」がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も体得できます。
- 「トライアルゲーム」（初回体験受講）の場合はテキスト代 1,000 円
特典として （１）小冊子「経営のゴールド免許の取り方」を差し上げます。

=====

■ キット BOX を頒布いたします ■

「経営特くんゲーム」に関心があり、トライアルゲームを受講された方、または、これから体験したい方、向けに「キット BOX」と「マネジメント会計3表」（MO、B/S、P/L）等のゲームに必要な表、ならびに、記入方法、戦略・作戦の考え方を解説した「DVD」を添えて提供いたします。

◆ 購入方法はお問い合わせください。

E-Mail: happy@keiei-tokkunshi.jp

◆ 価格 ： 定価 70,000 円（税別）
支払方法は、ご相談に応じます。

◆ 特典

- 1) 「トライアルゲーム」および「マスター20講座」を5回、無料で受講できます。
- 2) 申請いただければ、審査の上、「認定経営特訓士」に登録して頂けます（有料）。

3) 更に、インストラクターを目指す方には、特別料金で受講できますので、係までお問い合わせください。

=====

プレゼントのお知らせ

◆DVD「経営特くんゲームのすすめ方」と小冊子「経営のゴールド免許の取り方」をプレゼントします。下記よりお申し込みください。

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

◆「人生に五計あり」の保存版を作りましたので、ご希望の方は、

happy@keiei-tokkunshi.jp

でお申込みください。

折り返し、メールにて送付させていただきます。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集： 理事 石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@hosbiz.net

=====